

入院診療計画書(膵頭十二指腸切除術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

病名 (他に考える病名)

症状

担当医師 @USERNAME 印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	入院日 ( / )	術前日 ( / )	手術日 ( / )		術翌日 ( / )	術後3日~5日目 ( / )~( / )	術後6~10日目 ( / )~( / )	術後11日~20日目 ( / )~( / )	退院日 ( / )
			術前	術後					
経過	入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。	( )時に手術室へ移動します	術後はICUに入室します	注意点を守りながら、少しずつ、日常生活のリズムを戻していきましょう	医師の指示のもとに水分開始になります	医師の指示のもとに食事開始になります		退院
目標	手術への準備ができています。安心して手術に臨むことができます。	術前日の流れ / ( )時 ~ 絶飲食	朝起きてから手術に行くまでの流れ	術後合併症が発症しない。痛みのコントロールができる。	一般病棟へもどることができ。水分摂取を開始できる。	胃管を抜去することができる。			外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。
検査	手術に必要な検査をします	□おへその周りの毛があれば処理します おへそのそうじをします	□麻酔科医師の指示の内服薬があれば服用してください	術後はICUへ入室します	採血・レントゲン写真 食事が摂取できるようになるまで決まった時間に血糖を測ります	必要に応じて採血・レントゲン写真	採血・レントゲン写真 必要に応じて透視の検査		
処置	基本的に処置はありません <b>禁煙してください!!</b>	□入浴 □点滴 □腕に名前を書きます(医師) □準備品の確認をします □21時 下剤を内服します(21時以降水分はひかえて下)	□排便がなければ流腸をします □前あきの下着、 □歯磨、めがね、時計、ヘアピン、指輪などを外して下さい □髪の高い方は、ヘアゴムでむすんで下さい	痛み止めは... ・点滴から痛み止めを注入する場合と ・背中に管を入れて痛み止めを注入する場合があります いずれにしても、痛いときは我慢せずに教えてください	ICUから一般病棟 痛み止めの管が抜けます 酸素は マスクが外れ鼻からの吸入に変わります 心電図モニターが外れます 胃の管が抜けます	食事摂取量に応じて、点滴を減らします。術後およそ10日目で点滴は終了の予定です。	傷の部分のドレーンが抜けます	以下の症状があるときは、受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時 ・便やおならがなく、お腹の張りが続いている時 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・黒い便が出た時 ・高熱が出たり微熱が何日も続く時 わからない点、不安な点がありましたら、医師や看護師にご相談ください。	
注射	基本的に注射はありません	ご不安なときは、ポータルトイレを用意します	ご不安なときは、ポータルトイレを用意します	酸素吸入 点滴 心電図モニター 蓄尿袋 傷に入っている管(3~5本) ※術中に、首から点滴が入ります		薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。下剤の内服については、便の回数や状態を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談して下さい。			
内服	飲んでおられる薬はすべて看護師にお知らせください	普段飲んでおられる薬は、術前日もいづれも飲んで下さい。中止薬があれば、説明します。							□次回受診まで、必要な分のお薬が処方されます
食事	入院日の食事制限はありません	術後許可が出るまで、飲んだり食べたりできません			水分開始 むせたり、吐いたりしないか確認しながら飲んで下さい	食事開始 食事に制限はありません。	徐々に粥が硬くなります。許可があれば、普通のご飯を食べることができます。		職場復帰、旅行などは医師に相談して下さい
清潔行動	活動、入浴に制限はありません				シャワーの許可が出るまで体を拭きます	必要に応じて、ポータルトイレや尿器を用意します	ドレーンが抜けなくてもシャワーの許可がでる場合があります 傷の部分は、こすらず、シャワーで流す程度にして下さい	入浴のときは... 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。	
リハビリ	スーフル呼吸訓練行って下さい	麻酔から覚めたら深呼吸をして下さい	血栓予防に足の底背屈運動を行って下さい。 つま先を頭の方へ向ける つま先を伸ばす		術翌日 日中はできるだけ起きてみましょう	術後2日目 立ちましょう 足ぶみみましょう	術後3日目~ スーフル呼吸訓練も行って下さい 病棟歩行を毎日行いましょう		
説明	病棟での日常生活をご案内します 手術の予定を説明します	麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります	ご家族の方へ病棟フロア ロビーでお待ち下さい 離れるときは、待機場所をお知らせ下さい		点滴や尿管、ドレーンが抜けていないので、座るときは看護師を呼んで下さい。	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くな	□栄養指導を行います	□次回予約票を渡します □リハビリを外します	

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性

有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名:

続柄: